

# 附属の学校

## 中央大学 附属中学校

2010年4月1日（木）より、本学最初の中学校である、中央大学附属中学校が開校しました。

昨年11月20日（金）、東京都庁において「学校設置認可書（11月5日付）」が交付され、久野修慈理事長が受領しました。翌週11月28日（土）に、理事長、総長・学長臨席のもと、校舎の竣工式が開催されました。なお、高校側にある正門から中学校までのアプローチ通路については、7月着工予定です。

昨年5月から始まった学校説明会は全部で6回実施し、特に10月17日（土）と11月7日（土）の説明会は、入試要項の配布と中学新校舎の公開を行ったため、両日ともに約1,600名の参加者がありました。また、その後も校舎見学を希望する問い合わせが続いたため、12月5日（土）に中学校舎見学会を急遽設定したところ、160名の申込みがありました。

この状況は、昨年10月18日（日）放送の「NHKニュース7」、および今年2月2日（火）に放送されたNHK「おはよう日本」、その他、各週刊誌等でも取り上げ

られ、反響を呼びました。

また、附属中学校設立準備室としてもこの1年間、個別相談会・説明会、受験雑誌等への広告掲載、取材への積極的対応、JRや私鉄各線の車内広告等、広範囲にわたる広報活動を行い、大学創設以来初の、中学校新設告知に力を入れました。

初めての入学試験は、2月1日（月）と4日（木）の8時50分から、国語（50分）・算数（50分）・社会（30分）・理科（30分）の順に実施しました。第1回目の試験には、定員100名に対し、378名の応募があり、346名が受験しました。受験率は91.5%と高く、173名の合格者を出し、実質倍率2倍となりました。また第2回目の試験では、定員50名に対して、591名の応募があり、452名が受験。受験率は76.5%であり、54名が合格し、実質倍率8.4倍と大変高倍率になりました。この好調は手続時まで続き、第1回目の手続者は予想を遙かに超える152名（手続率87.9%）、2回目の手続者も37名（手続率68.5%）でした。

この競争の激しい入試を経て、最終的に新入生として附属中学校1期生168名を迎え、4月7日（水）、初めての入学式を実施しました。附属高校のブラスバンド演奏に合わせて生徒が入場した後、クラス担任（6クラス）が全員の名前を呼んで新入生を紹介し、三枝幸雄校長の式辞に続いて、永井和之総長・学長ならびに久野修慈理事長が祝辞を述べました。

今後は、6月12日（土）に開校式を開催する予定です。



## 「中央大学附属・系属校合同説明会」実施のお知らせ

2010年4月に、本学附属中学校が開校したことと、昨年4月から横浜山手女子学園が本学の系属法人となったことをきっかけに、その附置学校である横浜山手中学・高等学校を含めた総合学園とし

ての広報活動に力を入れています。その魁として、8月1日（日）の中大オープンキャンパスと連携して、中大附属・系属校合同説明会を実施する予定です。

来校者には、各附属・系属校ガイドン

スや相談コーナー、現在各校で制作中のビデオ上映会を実施し、中学・高校の内容を理解いただいたうえで、午後からの大学オープンキャンパスのプログラムにご参加いただけます。